

株式会社 エーワン精密

平成24年6月期・第2四半期決算説明資料

平成24年6月期・第2四半期決算説明資料目次

| | ページ |
|-----------------|-----|
| (1) 当社の事業について | |
| ① 当社の事業展開 | 1 |
| ② 事業内容・特色 | 2 |
| ③ コレットチャック部門 | 3 |
| ④ 切削工具部門 | 4 |
| ⑤ 自動旋盤用カム部門 | 5 |
| (2) 第2四半期決算について | |
| ① 決算の概要 | 6 |
| ② 損益の状況 | 7 |
| ③ 財務の状況 | 8 |
| ④ キャッシュ・フローの状況 | 9 |
| (3) 今後の事業展開 | |
| ① コレットチャック部門 | 10 |
| ② 切削工具部門 | 11 |
| ③ 自動旋盤用カム部門 | 12 |
| (4) 添付資料 | 13 |

当社の事業展開

経営理念

高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

事業内容

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

切削工具の再研磨及び特殊切削工具の製作（平成11年～）

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

事業領域

旋盤による旋削加工・フライスによる切削加工に使用される消耗工具に特化

機械により素材を削り出し精密な部品加工する根幹となる製造工程に的を絞っている

工具の中でも使用される状況に応じて種類・形状が多岐に亘り製造に手間のかかる工具

他社との差別化・当社の特色

多品種で手間のかかる工具に1本から高品質・短納期対応する

直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

13,500社以上の顧客からリピートオーダーが入る

コレットチャック部門

主に小型自動旋盤で使われるコレットチャックの製造・販売

コレットチャックが主に使われる機械

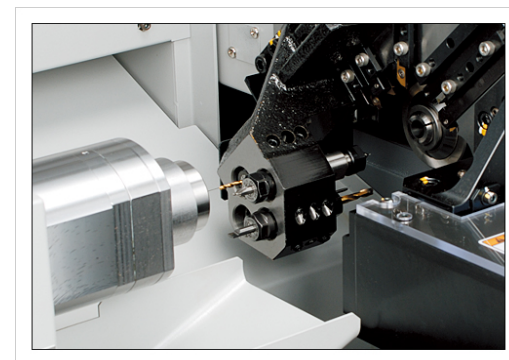
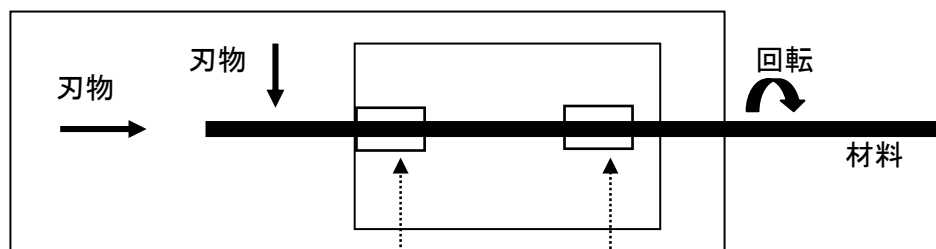
NC旋盤 2,452億円(2011年生産額) 16,598台
うち CNC自動旋盤 約 760億円(2011年推定生産額)

主なCNC自動旋盤メーカー

シチズンマシナリーミヤノ、スター精密、ツガミ、高松機械

特殊コレットチャック

専用機 779億円(2011年生産額) 3,604台



加工部品

精密機械、産業機械、電子部品、半導体、自動車、航空機、医療機器など



切削工具部門

金属等の切削部品加工に使用される工具の製作・再研磨

加工のイメージ



主に切削工具を使用する機械

| | | |
|-------------|-------------------|---------|
| マシニングセンター | 4,114億円(2011年生産額) | 35,334台 |
| NCフライス、中ぐり盤 | 175億円(2011年生産額) | 628台 |

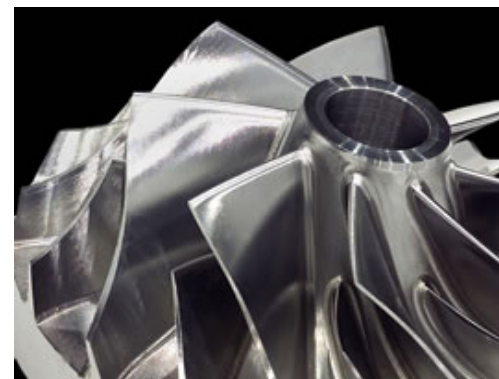
使用される工具

| | |
|---------|-----------------|
| 超硬エンドミル | 338億円(2011年生産額) |
| 超硬ドリル | 278億円(2011年生産額) |
| その他超硬工具 | 385億円(2011年生産額) |

主なマシニングセンターメーカー

オークマ、ヤマザキマザック、森精機、牧野フライス
キタムラ機械、安田工業、松浦機械、東芝機械
三井精機、三菱重工など

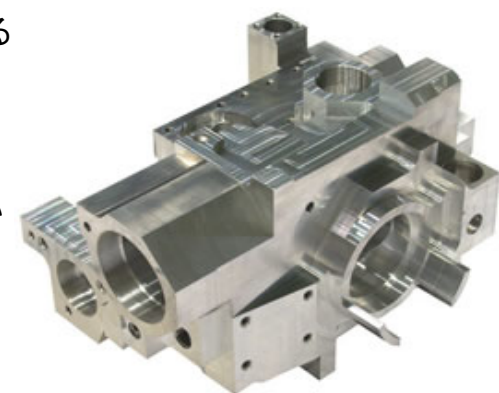
加工部品のイメージ



- ・材料を固定し、切削工具が回転して材料を切削して部品形状を作る
- ・小物から大物まであらゆる部品加工に使用される
- ・ロットのある部品の場合、特殊切削工具で量産加工することが多い

加工部品

一般機械、自動車、精密機器、電子部品、航空機、金型



自動旋盤用カム部門

カム式小型自動旋盤で使用するカムの設計・製作・販売

- ・同じ部品を大量に効率的に生産できる機械
- ・単品、大量生産部品がアジアなどの海外生産に移行してから機械自体が製造されていない
- ・カム式機械を使用する顧客からの受注に対応

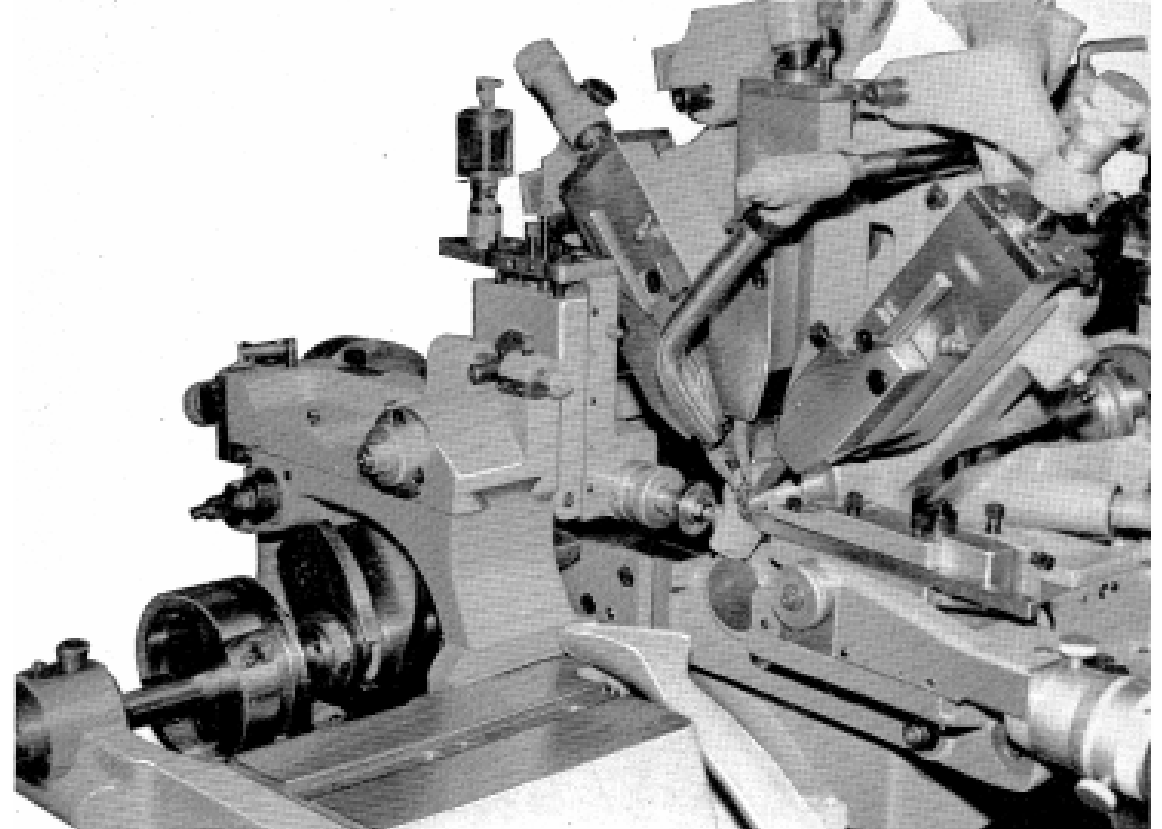
製品写真



カム式自動旋盤(型番: NS-1053)



カム取付後写真



平成24年6月期・第2四半期決算概要

| | |
|-----|--|
| 売上 | 東日本大震災後の減産から国内製造業の生産活動も徐々に回復。8月は電力不足による操業度低下の影響で当社の受注も一時的に下がったが、量産品加工については秋口から年末にかけて増加傾向となり、単品加工・設備関係も年末にかけて動きが出て、全社的に穏やかながら増加した。対前年同期比では微増にとどまった。 |
| 原価 | 夏場の電力不足に対応するため2011年7月に急遽、太陽光発電設備の投資を決定したため、減価償却費が増加し原価増加要因となった。 |
| 利益 | 減価償却費が増加した分利益率が若干低下。 |
| その他 | 太陽光発電設備導入の補助金があり営業外収益が増加。 |

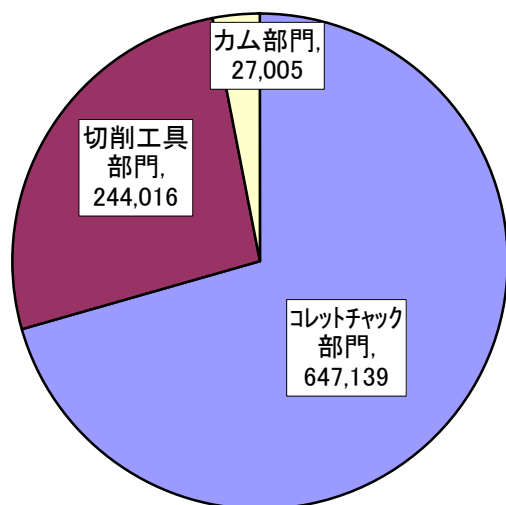
人件費

| | (千円) | |
|-----------|---------|---------|
| | 前第2四半期 | 当第2四半期 |
| 労務費 | 321,338 | 342,105 |
| コストに占める比率 | 49.9% | 50.2% |

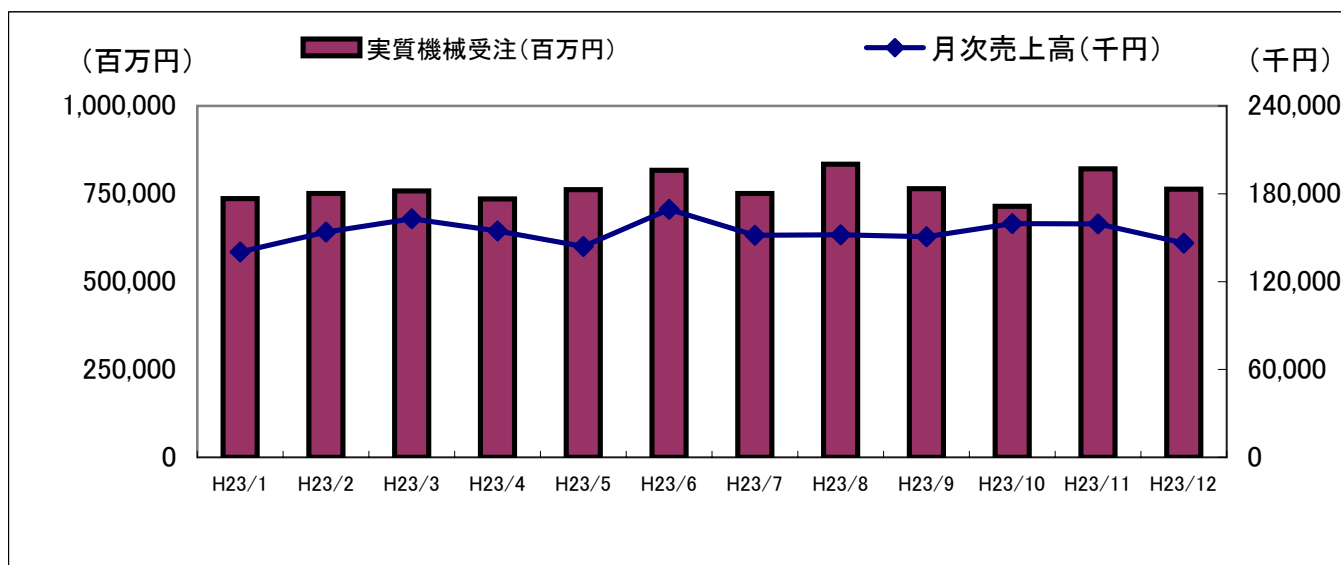
設備投資額と減価償却費

| | (千円) | |
|-------|---------|---------|
| | 前第2四半期 | 当第2四半期 |
| 設備投資額 | 38,580 | 427,441 |
| 減価償却費 | 104,406 | 132,904 |

部門別売上構成比(千円)



実質機械受注と月次売上高



平成24年6月期・第2四半期 損益の状況

(単位：千円)

| | 前第2四半期 | | | 当第2四半期 | | | 増減要因 |
|------------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|---|
| | | 売上構成比 | 前年同期比 | | 売上構成比 | 前年同期比 | |
| 売上高 | | | | | | | |
| コレットチャック | 644,694 | 72.7% | 135.8% | 647,139 | 70.5% | 100.4% | ・8月は夏場の電力不足や部品欠品などにより操業度低下し、受注減少。9月からは基本的に増加傾向を示し、年末に掛けて緩やかに上昇。 |
| 切削工具 | 210,712 | 23.8% | 139.9% | 244,016 | 26.6% | 115.8% | ・コレットチャック部門同様、8月は一時的に受注減少し9月から年末にかけて増加傾向を示し、12月は設備・治工具など単品加工も動き、受注増加した。 |
| 自動旋盤用カム | 30,741 | 3.5% | 102.3% | 27,005 | 2.9% | 87.8% | ・秋口から年末にかけて他の2部門と同様の動きを示した。 |
| 合計 | 886,148 | 100.0% | 135.2% | 918,161 | 100.0% | 103.6% | |
| 売上原価 | 503,147 | 56.8% | 118.6% | 540,787 | 58.9% | 107.5% | ・太陽光発電設備導入により減価償却費が18,400千円増加した。 |
| 売上総利益 | 383,001 | 43.2% | 165.7% | 377,373 | 41.1% | 98.5% | ・原価増加分利益率低下。 |
| 販売費及び一般管理費 | 143,076 | 16.1% | 108.9% | 141,264 | 15.4% | 98.7% | |
| 営業利益 | 239,924 | 27.1% | 240.5% | 236,109 | 25.7% | 98.4% | |
| 経常利益 | 253,105 | 28.6% | 230.5% | 256,171 | 27.9% | 101.2% | ・太陽光発電設備導入の補助金10,000千円受入。 |
| 当期純利益 | 148,394 | 16.8% | 233.8% | 142,472 | 15.5% | 96.0% | |

平成24年6月期・第2四半期 財務の状況

(単位：千円)

| 事業年度 資産 | 前事業年度末 | | 当第2四半期 | | 主な増減要因 |
|-----------------|------------------|---------------|------------------|---------------|---|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | |
| 現預金 | 3,597,488 | 49.0% | 3,290,760 | 46.1% | ・246百万円 太陽光発電設備資金に充当 |
| 売上債権 | 415,091 | 5.7% | 396,552 | 5.6% | ・受取手形及び売掛金 18,539千円減少 |
| 棚卸資産 | 184,721 | 2.5% | 196,618 | 2.7% | ・仕掛品 11,345千円増加 |
| その他流動資産 | 20,570 | 0.3% | 14,493 | 0.2% | |
| 固定資産 | 3,118,038 | 42.5% | 3,238,591 | 45.4% | ・機械装置及び運搬具 333,939千円増加 ・投資有価証券 107,181千円・繰延税金資産 69,628千円減少 |
| 資産合計 | 7,335,911 | 100.0% | 7,137,016 | 100.0% | |
| 負債・資本 | | | | | |
| 買入債務 | 16,204 | 0.2% | 14,756 | 0.2% | |
| その他流動負債 | 255,904 | 3.5% | 95,984 | 1.4% | ・未払金 22,968千円・未払法人税等 138,347千円減少 |
| 固定負債 | 339,192 | 4.6% | 335,682 | 4.7% | ・役員退職慰労引当金 3,520千円増加 ・退職給付引当金 7,030千円減少 |
| 負債合計 | 611,300 | 8.3% | 446,424 | 6.3% | |
| 純資産合計 | 6,724,610 | 91.7% | 6,690,591 | 93.7% | ・利益剰余金 44,973千円増加 ・その他有価証券評価差額金 78,991千円減少 |
| 負債・純資産合計 | 7,335,911 | 100.0% | 7,137,016 | 100.0% | |

平成24年6月期・第2四半期 キャッシュ・フローの状況

(単位：千円)

| | 前第2四半期 累計期間 | 当第2四半期 累計期間 | 対前年同期比 増減額 | 主 な 増 減 要 因 (対 前 期 比) |
|------------------|----------------|----------------|---------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 301,481 | 223,967 | ▲ 77,513 | 主な増加要因：税引前当期純利益 256,148千円 減価償却費 132,904千円 主な減少要因：法人税等の支払額 138,521千円 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 242,931 | ▲ 133,568 | 109,362 | 主な増加要因：定期預金の純減額 299,569千円 主な減少要因：有形固定資産の取得による支出 427,441千円 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | ▲ 89,822 | ▲ 97,557 | ▲ 7,734 | 全額配当金の支払い額 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | ▲ 31,272 | ▲ 7,158 | 24,114 | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,289,721 | 1,153,362 | ▲ 136,358 | |

